淺間高原の蜘蛛類及び多足類

岡崎常太郎　關口晃一

I 緒　　言

淺間高原通俗博物館に就いては本誌 Vol. IV, No. 1 (1939) に於て當時採集された蜘蛛類と共に簡單に記して置いた通りであるが，その後同館は益々內容の充實を示し，昆蟲類の如きは夏期のものに關する限り殆んど總べて標本として保存するに至つた。昨夏 (1940) 筆者等は蜘蛛類及び多足類をも採集する機會を得，今大體その整理も出來たので同館の資料充實の一助として次にその目錄及び簡單な解說を記すことにした。之等標本の中蜘蛛類は植村利夫氏の指導の許に關口が査定し，盲蛛類は鈴木正將氏に，多足類は高桑良興氏にお願ひした。上記諸氏には玆に深甚なる謝意を表する次第である。猶同地滯在中種々の便宜を計つて戴いた關係各位に對しても厚く御禮申上げる。

II 淺間高原の眞正蜘蛛類

淺間高原眞正蜘蛛類は環境の變化に富んでゐる爲，極めて種類及び個體數が多く，且つ生態的にも興味あるものが少くない樣に思はれた。殊に小淺間の南側斜面の不毛原の火山岩の下に棲むクモ類，淺間山中腹に生活するドクグモ類等はその生活史の研究丈でも極めて意義あることであり，更に山麓地帶に於てはコマチグモに寄生する寄生蜂の生活史を始めとして，蜘蛛類の食性や天敵等その研究分野は極めて豐富で野外觀察に於ける最も好適の地と思はれた。分類學的にも興味ある種類が多く，未だ充分研究されてゐないものも數種あり，恐らく本邦未記錄と考へられるものもあるが，之等は今後精査の上發表し度い。以下に掲げる32屬54種の目錄は種名の確定したもの丈であり，幼蛛や疑問のある種名は擧げなかつた。

Theridiidae　ヒメグモ科

1. *Theridion tepidariorum* C. L. Koch　オホヒメグモ

VIII. 18 峰ノ茶屋, VIII. 21 硏究所內

家の中にゐる最も普通な蜘蛛。不規則な網を張つてゐる。

2. *Theridion angulithorax* Bösenberg et Strand ツリガネヒメグモ

VIII. 24 研究所——千ヶ瀧

地上近くに小さな土塊をくつ附けて鐘狀の巢を作りその中で生活する。

Linyphiidae サラグモ科

3. *Linyphia yunohamensis* Bösenberg et Strand ユノハマサラグモ

VIII. 17 湯川べり, VIII. 18 東區事務所——つゝじヶ原

4. *Linyphia montana* Clerck ヤマヂサラグモ

VIII. 18 東區事務所——つゝじヶ原

5. *Linyphia albolimbata* Karsch ヘリジロサラグモ

同上 VIII. 24 研究所——千ヶ瀧

いづれも皿をかぶせた樣な美しい網を作る。時に網が球狀に見えることもある。

Pholcidae ユウレイグモ科

6. *Pholcus phalangioides* Feussly

イヘユウレイグモ (第一圖)

VIII. 21 研究所

7. *Pholcus opilionoides* (Schranck)

タイリクユウレイグモ

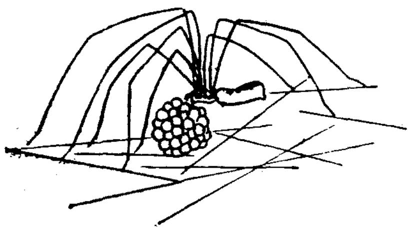
同上

兩者共屋內殊に便所の天井等に多い。脚の長い乳白色の弱々しい蜘蛛である。

8. *Simonius typicus* Kishida シモングモ

VIII. 24 千ヶ瀧附近

上記のユウレイグモに類似してゐるが極めて小さい。



第 一 圖

Micryphantidae

9. *Mesticus cericeus* Saito キヌグモ

VIII. 18 つゝじヶ原

體は黃色で細長く美しい蜘蛛である。雜草中にゐる。

Argiopidae コガネグモ科

10. *Araneus opima* (L. Koch) コゲチヤオニグモ

VIII. 研究所附近

腹部背面が焦茶色をしてゐるところからこの名が來た。外形はヤマシロオニグ

モと同じであるが稍小さい。

11. *Araneus scylla* (Karsch) ヤマシロオニグモ

VIII. 16 研究所內, VIII. 19 星野溫泉——輕井澤

12. *Araneus scylloides* Bösenberg et Strand サツマノミダマシ

VIII. 採集地不明

腹部が綠色をしたサツマの實によく似てゐる。

13. *Araneus ventricosus* (L. Koch) オニグモ

VIII. 19 星野溫泉——輕井澤, VIII. 22 追分原

夕方軒下等に網を張つてゐる大きな黑褐色の蜘蛛。

14. *Araneus mongolicus* Simon コケオニグモ

VIII. 21 研究所——峰ノ茶屋

腹部が苔の色をしてゐる。苔の生えてゐる樣な場所に多い。

15. *Araneus westringi* (Thorell) ムツボシオニグモ

VIII. 18 東區事務所——つゝじケ原, VIII. 21 研究所——峰ノ茶屋

6 mm 位の黃色のオニグモで腹部に 6 個の黑點がある。

16. *Araneus quadlatus* Clerck アカオニグモ

VIII. 採集地不明

腹部が赤くて美しい斑紋がある。

17. *Araneus ishisawai* Kishida イシサハオニグモ (第二圖)

VIII. 18 東區事務所——つゝじケ原, VIII. 21 研究所——峰ノ茶屋

12〜15 mm の大きな赤褐色の蜘蛛である。

18. *Argiope bruennichi* (Scopoli) ナガコガネグモ

VIII. 22 追分ケ原

腹部の稍細長い 15 mm 位の蜘蛛。網の中央に白い太い絲で作つたカクレオビと云ふものがある。

19. *Chrysaster typicus* Kishida キララグモ

VIII. 19 研究所附近, VIII. 16 熊ノ平——碓氷

網を斜又は水平に張つてゐる。金黃色の網目の腹部が美しい。

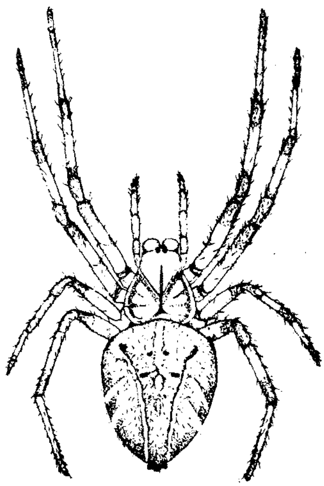
20. *Cyclosa argenteo-alba* Bösenberg et Strand ギンメツキゴミグモ

VIII. 19 星野溫泉——舊輕井澤

垂直な網の中央にじーつと蹲つてゐる銀色の蜘蛛。

21. *Cyclosa atrata* Bösenberg et Strand カラスグモ

VIII. 18 東區事務所——つゝじケ原, VIII. 19 星野溫泉——舊輕井澤



第　　二　　圖

腹部は無恰好に細長く，全身黒又は褐色である。

22. *Leucauge subblanda* Bösenberg et Strand コシロガネグモ

VIII. 16 熊ノ平——碓氷

腹部の銀色な美しい蜘蛛。

23. *Meta doenitzi* Bösenberg et Strand ドヨウグモ

VIII. 17 湯川べり, VIII. 18 東區事務所——峰ノ茶屋

初秋の草原に特に多い。草間に垂直の丸網を作り自分は傍の草の葉で作つた住居に隱れてゐる。

24. *Meta yunohamensis* Bösenberg et Strand, ユノハマドヨウグモ

VIII. 22 追分ヶ原

多く水邊に斜の網を作つてゐる茶褐色の蜘蛛。

25. *Tetragnatha japonica* Bösenberg et Strand　ヤサガタアシナガグモ

VIII. 24 千ヶ瀧附近

次の種と似てゐるが本種の方が稍小形で色がうすい。兩者共水邊に多い。

26. *Tetragnatha praedonia* L. Koch　アシナガグモ

VIII. 18 つゝじヶ原

27. *Tetragnatha squamata* Karsch　ウロコアシナガグモ

VIII. 18 東區事務所——つゝじヶ原, VIII. 22 追分ヶ原

腹部に銀鱗狀の網目を有する。

Pisauridae　キシダグモ科

28. *Dolomedes angustivirgatus* Kishida　スヂボソハシリグモ

VIII. 18 東區事務所附近

29. *Dolomedes sulfureus* L. Koch　イワウイロハシリグモ

VIII. 18 東區事務所附近

共に網を作らず地上を徘徊する。上記の場所で卵嚢を保護してゐた。

Lycosidae ドクグモ科

30. *Lycosa T-insignita* Bösenberg et Strand ウヅキドクグモ

VIII. 21 小淺間, VIII. 24 千ヶ瀧附近

31. *Lycosa laura* (Karsch) ハリゲドクグモ

VIII. 21 小淺間, VIII. 15 淺間中腹

32. *Lycosa procurva* Bösenberg et Strand チビドクグモ

VIII. 16 熊平——碓氷

Agelenidae タナグモ科

33. *Agelena limbata* Thorell クサグモ

VIII. 18 東區事務所附近

路傍のタケニグサを折つて卵嚢を作つてゐた。

34. *Tegenaria corasides* Bösenberg et Strand カキネタナグモ

VIII. 24 千ヶ瀧附近

草原に店狀の網を作る。

Thomisidae カニグモ科

35. *Heriaeus mellottéei* Simon アシナガカニグモ

追分ヶ原

36. *Misumena tricuspidata* (Fabricius) ハナグモ

VIII. 19 星野溫泉——舊輕井澤, 研究所附近

葉上又は花上に多いところからこの名が來た。黃綠色の美しい蜘蛛。

37. *Oxytate striatipes* L. Koch ワカバグモ

VIII. 19 星野溫泉——舊輕井澤, VIII. 22 追分ヶ原

綠色で腹部が細長い。

38. *Philodromus spinitarsis* Simon キハダエビグモ

VIII. 18 東區事務所——峰ノ茶屋

39. *Pistius truncatus* (Pallas) タンボグモ

VIII. 採集地不明

雜草の下を探すと見つかる。

40. *Synaema globosa japonica* Karsch フノジグモ

VIII. 18 峰ノ茶屋附近, VIII. 21 研究所——峰ノ茶屋

腹部に"不"の字形の黑色斑紋がある。

41. *Tibellus oblongas* Latreille シヤコグモ
VIII. 18 東區事務所——峰ノ茶屋
42. *Tibellus tenellus* (L. Koch)
VIII. 18 東區事務所——峰ノ茶屋, VIII. 22 淺間——小諸
43. *Xysticus ephippiatus* Simon ヤミイロカニグモ
VIII. 21 峰ノ茶屋附近, VIII. 22 淺間——小諸
雜草の下を探すと多い。葉上にゐることもある。最も代表的なカニグモ。

Salticidae ハヘトリグモ科

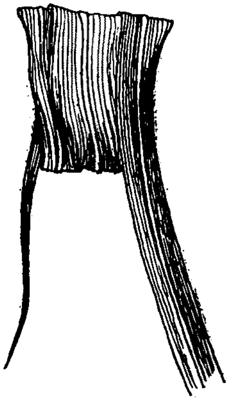
44. *Plexippus incognitus* Doenitz et Strand ウススヂハヘトリ
VIII. 21 研究所——小淺間, VIII. 24 千ケ瀧附近
45. *Plexippus paykulli* (Audouin) チヤスヂハヘトリ
VIII. 21 研究所——小淺間
46. *Hyllus lamperti* Bösenberg et Strand ランペルトハヘトリ
VIII. 21 小淺間附近
47. *Sitticus mori* Kishida クワハヘトリ
VIII. 14 研究所附近
48. *Yoshiiyea agoana* Kishida ヨシイヘハヘトリ
VIII. 18 東區事務所——つゝじケ原, VIII. 23 千ケ瀧附近
家屋内に入つて來る普通のハヘトリグモ。15 mm に達するものもある。

Heteropodidae アシダカグモ科

49. *Heteropoda forcipata* (Karsch) コアシダカクモ
VIII. 採集地不明
體長は 20 mm 內外で茶褐色。野外に多い。

Clubionidae フクログモ科

50. *Chiracanthium japonicum* Bösenberg et Strand カバキコマチグモ (第三圖)
VIII. 20 離山附近, VIII. 22 追分ケ原
笹や芒等の葉を折り曲げて入つてゐる蜘蛛で, 雌親はこの中に卵を產みそれが孵化するまで番をしてゐて結局仔蛛の爲に食べられてしまふ。
51. *Clubiona lena* Westring トビイロフクログモ
VIII. 21 峰ノ茶屋附近, VIII. 22 追分ケ原
以下フクログモは皆植物の葉を折つてコマチグモと同樣な住所を作つて居る。外部はよく似てゐるから區別は困難である。
52. *Clubiona japonica* L. Koch フクログモ



第　三　圖

VIII. 16 千ヶ瀧附近

53. *Clubiona vigil* Karsch　ムナアカフクログモ

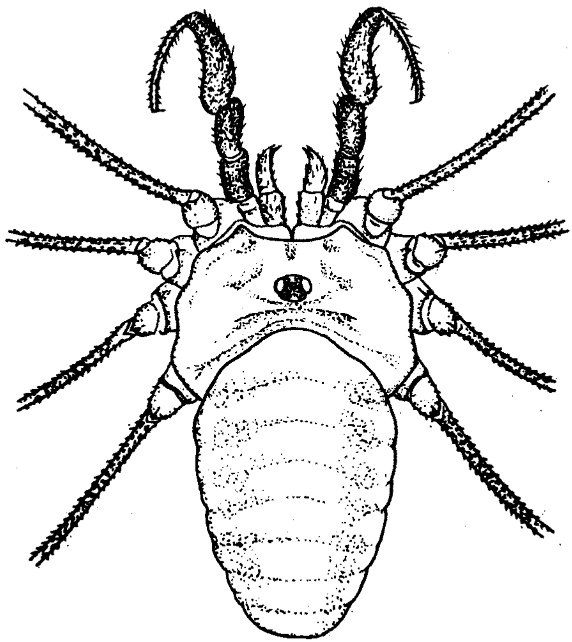
VIII. 24 千ヶ瀧附近

54. *Clubiona jucanda* (Karsch) ヤハズフクログモ

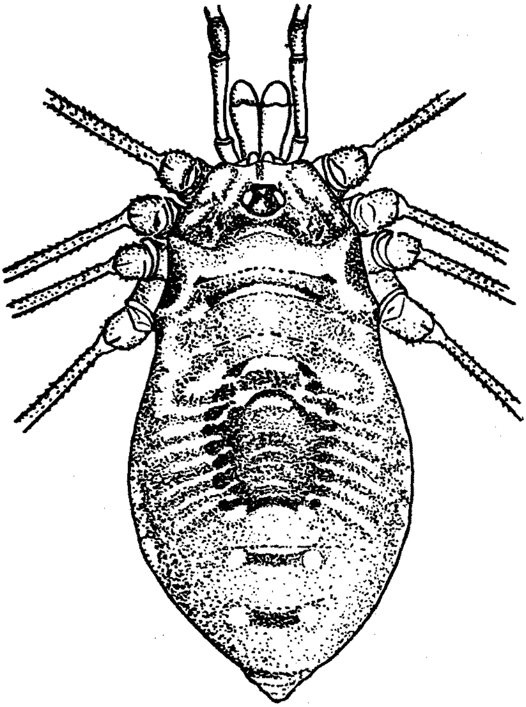
VIII. 22 追分ヶ原

III 淺間高原の盲蛛類

メクラグモが一般に高原或ひは山麓地方に多いのは知つてゐたが，筆者が千ヶ瀧で生活し始めてこの附近に想像以上にメクラグモが多いのに驚いた。晝でも夜でもあの盲人の杖の樣だと云はれる長い脚でゆらりゆらりと部屋の中へ入つて來た。廁の裏側の薄暗いところには無數に集つてゐてうつかり顏を出すとさーつと薄氣味の惡い音を立てゝ敏速に逃げた。早朝便所などへ入つて行くと一齊に腹部でコツコツと壁を叩いて威嚇する樣子は一寸微笑ましいものであつた。滯在中「クモに標本を食べられてしまつた」と云ふ話を來館の少年達から聞いたが，之は總てメクラグモの仕業であることは明かであつた。話の樣子では蝶等を好んで翅以



四　圖



第　　五　　圖

外の所は皆食べてしまふらしかつたが，同じ新鮮度の種々の標本を並べて置いて何を一番好むかを調べて見たら面白い結果が得られるのではないかと思ふ。筆者等の觀察し得たものでは便所に於てカマドウマを食べてゐたもの（VIII. 25）と室内に於てオホカハゲラを食べてゐたもの（VIII. 22）と丈であつたが，鈴木氏の査定によれば兩者共 *Nelima genufusca* であつた。又逆にオホヒメグモの網にかゝつて食べられてゐたメクラグモ（VIII. 25 研究所便所にて）もあつたが之も同じ種類であつた。メクラグモは食性のみでなく種々の生態的研究が未だ極めて不充分であるが，之等はかうした資料の豐富な所を大いに利用してその完成に努力せねばならないと思ふ。全期間を通じて採集された標本個體數は 100 個以上にも及んでゐたが，鈴木氏の査定の結果は僅かに次の 4 屬 6 種であつた。

1. *Gagrellula ferruginea* (Loman, 1902) Roewer, 1910
   VIII. 18 東區事務所——つゝじケ原，VIII. 19 星野溫泉——舊輕井澤，VIII. 24 碓氷
2. *Liobunum curvipalpi* Roewer, 1910　ユミヒゲザトウムシ　（第四圖）
   VIII. 16 熊ノ平——碓氷，VIII. 18 東區事務所——つゝじケ原，VIII. 20 舊草津道，VIII. 23 淺間——小諸，VIII. 24 千ケ瀧附近

3. *Liobunum japonicum* Müller, 1914

VIII. 16 熊ノ平——碓氷, VIII. 22 追分ヶ原, VIII. 24 千ヶ瀧附近

4. *Liobunum* sp.

VIII. 16 熊ノ平——碓氷, VIII. 19 星野溫泉附近, VIII. 22 追分ヶ原, VIII. 24 千ヶ瀧附近

5. *Nelima genufusca* (Karsch, 1881), Roewer, 1910 (第五圖)

VIII. 15, 18, 21, 22, 25 研究所, VIII. 18 東區事務所——つゝじヶ原, VIII. 19 星野溫泉——舊輕井澤, VIII. 20 研究所——小淺間, VIII. 22 追分ヶ原, VIII. 24 千ヶ瀧附近 碓氷

6. *Oligolophus aspersus* (Karsch, 1881) Roewer, 1910

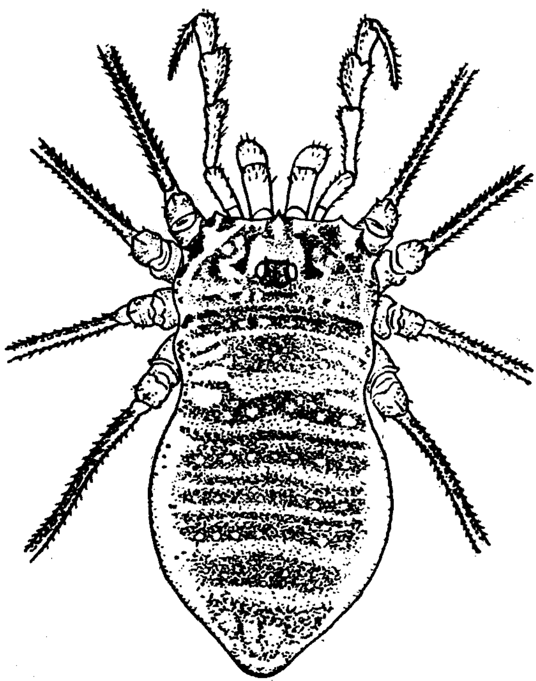
トゲザトウムシ (第六圖)

VIII. 18 東區事務所——つゝじヶ原, VIII. 19 星野溫泉——舊輕井澤 VIII. 20 研究所——小淺間 VIII. 21 小淺間, VIII. 23 淺間小諸

猶目錄を見てすぐ氣附くやうに研究所内で捕へられたメクラグモは總て*Nelima genufusca* であるから, 少くともこの地方で屋内に見られるメクラグモは大部分が本種であると云へると思ふ。

VI 淺間高原の多足類

多足類の採集は全く昆蟲類, 蜘蛛類採集の片手間に



第 六 圖

やつたのであつたが，それでも整理して見ると，約40個體があつた。査定の結果は唇脚類即ち蜈蚣類7屬8種，馬陸類3屬3種であつた。此の中には分類上興味あるものはないらしい。

蜈蚣類

1. *Stigmatogaster japonica* Takakuwa, 1935 ヨシヤチムカデ
   VIII. 23 淺間山中腹
2. *Otocryptops rubiginosus* (L. Koch, 1878) セスヂアカムカデ
   VIII. 22 追分ヶ原 VIII. 23 淺間山中腹
3. *Otocryptops sexspinosus quadristriatus* Verhoeff, 1934 ヨスヂアカムカデ
   VIII. 14 追分ヶ原，VIII. 24 熊野神社附近
4. *Bothropolys asperatus* (L. Koch, 1878) イッスンムカデ
   VIII. 18 つゝじヶ原，VIII. 21 小淺間南斜面，VIII. 22 追分ヶ原
5. *Esastigmatobius* sp. ゲジムカデ一種
   VIII. 24 見晴臺附近
6. *Lithobius* sp. イシムカデ一種
   VIII. 24 見晴臺——舊輕井澤
7. *Monotarsobius* sp. ヒトフシムカデ一種
   VIII. 20 小淺間南斜面，VIII. 22 追分ヶ原
8. *Queenslandophilus trichochilus* Takakuwa, 1935 フチケクキンヂムカデ
   VIII. 24 見晴臺——舊輕井澤

馬陸類

1. *Epanerchodus* sp. ヒナオビヤスデ一種
   VIII. 22 追分ヶ原
2. *Orthomorpha gracilis* (C. L. Koch, 1847) ヤケヤスデ
   VIII. 19 星野溫泉——舊輕井澤，VIII. 22 追分ヶ原，VIII. 24 見晴臺——舊輕井澤
3. *Fusiulus* sp. フジヤスデ一種
   VIII. 24 見晴臺——舊輕井澤